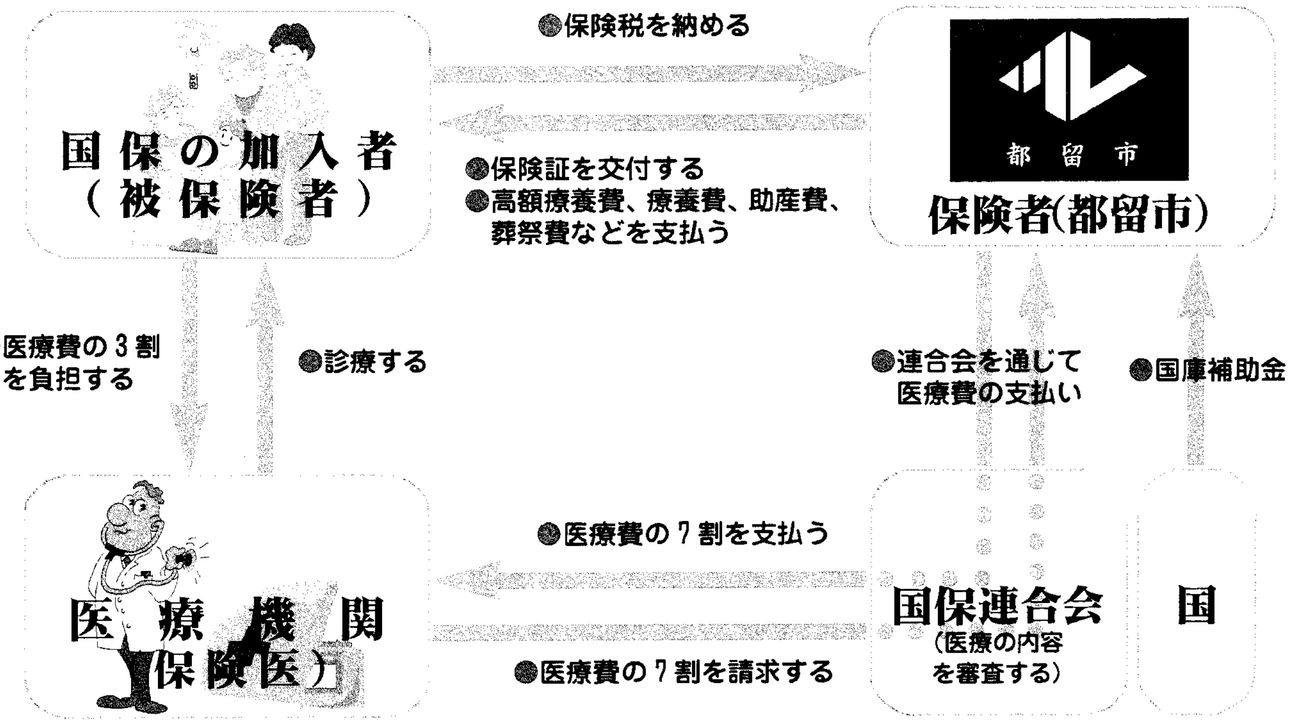
国保ものしりガイド

国保と保険税

国保に加入すると、保険税を納める義務が生じます。納めた保険税は、国などの補助金とともに、病気やケガをしたときの医療費や、出産育児一時金、葬祭費などに使われています。保険税はわたしたちの健康を守る国保の大切な財源なのです。



◎保険税を納めるときの注意

①保険税は、年度ごとに計算して決めます。

年度の途中で住民税の額が変更になったり、加入者の数が変わったときなどは再度計算し直すことになります。

②年度の途中で国保へ加入する資格が発生した場合、その月から保険税を納付することになります。

他の市区町村から転入したり、他の健康保険などを脱退した場合、その日から国保資格と保険税納付義務が発生します。

③年度の途中で加入・脱退した場合の保険税は次のようになります。

年度の途中で加入した場合、保険税は加入した月から月割で計算します。

年度の途中で脱退した場合、保険税は脱退した月の前月分まで計算します。

④加入の手続きが遅れた場合、さかのぼって保険税が課税されます。

保険税は、毎年４月から翌年３月までを１年度として、年額計算します。

例えば、１月に転入し、国保の資格が発生した人の届け出が遅れて、４月以降に届け出たような場合は、前年度の保険税として、１月までさかのぼって保険税を納めることになります。

保険税の決め方

その年に予測される医療費から、わたしたちが病院で支払う一部負担金や国などの補助金を差し引いたものが保険税です。

その年に予測される医療費		
国や地方自治体などの補助金	保険税	自己負担金

平等割額	均等割額	所得割額	資産割額
一世帯いくらと計算	世帯ごとの加入者数に応じて計算	世帯の所得に応じて計算	世帯の資産に応じて計算

一世帯ごとの保険税額が決まります

◎保険税の納付義務者は世帯主です

国保は１人ひとりが被保険者、加入は世帯ごとになります。保険税は世帯主本人が職場の健康保険などに加入している場合でも、納付の義務は世帯主にあります。（保険税は加入者についてだけ計算します。）

また、納められた保険税は、年末調整や確定申告のときに申告すると、全額社会保険料控除の対象となりますので、領収書は大切に保管しましょう。